

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	森林普及振興事業(備前)		コード	担当課
			04-01-02-06	農林振興課
事業実施期間			担当者	電話
			大道健一	0869-64-1831
総合計画 事業(政策)体系	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目	豊かな食を支えるまちづくり		
	小項目	林業		
	施策	森林の保全		

事業について	
目的	生活環境保全林整備及び水源林整備事業として分収造林の維持管理。
対象 (誰のために)	森林利用者並びに下流域住民
内容	林道・遊歩道・植栽区等の草刈、ヒノキ、スギ等の除間伐の実施。

事業の結果	
実施項目	17年度
	回数など (単位)
生活環境保全林管理事業	1回
水源林整備事業	1回

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,510	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,574	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	5,084	一般財源等	5,084	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.29	人
結果指標名	生活環境保全林管理事業	
結果指標量	1	
単位	回	
対前年比	-	
事業費	2,016,000	円
単当たりコスト①	2,016,000	円

結果指標名	水源林整備事業	
結果指標量	1	
単位	回	
対前年比	-	
事業費	493,500	円
単当たりコスト②	493,500	円

事業の成果			
成果指標名	目標達成率	式又は説明	維持管理実施数/維持管理事業
	17年度		
成果指標量	100		
対前年比	-	0.00%	
到達目標値	100	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	利用者の利便性向上並びに、水源林確保の目的から必要な事業である。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	事業実施にあたっては必要最小限の実施とするとともに設計にあたっては契約管理課に審査を受けるなどコスト削減に努め適正な事業の執行により効率性を高める。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	県、地元(区・学校)の連携により植栽・草刈等が実施されるなど事業の必要性は認識されている。
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価	
コメント	生活環境保全林整備の維持管理については、今後策道のルート見直しを含め管理区間の縮小を図り維持管理費の見直しを図る必要がある。水源林整備事業今後とも本事業による維持管理が必要である。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。